

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公表番号】特表 2020-505836 (P2020-505836A)
 【公表日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-007
 【出願番号】特願 2019-538425 (P2019-538425)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 1/00 E

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 27 日 (2020.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信のための方法であって、
トランスポートブロック (TB) を送るために利用可能なオーバージエアリソースを決定するステップと、

前記決定およびコードブロック (CB) に対する符号レートに基づいて前記 TB をより小さいコードブロックに分割することを実行するステップであって、前記分割の実行が、

前記符号レートがしきい値よりも小さい場合に第 1 のコードブロックサイズを選択するステップ、または

前記符号レートが前記しきい値よりも大きい場合に第 2 のコードブロックサイズを選択するステップを含む、ステップと、

前記 CB を送信するステップと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記分割を実行するステップが、

前記符号レートが前記しきい値以下である場合に前記第 1 のコードブロックサイズを選択するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 の コードブロック サイズが前記第 1 の コードブロック サイズよりも大きい、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 の コード ブロックサイズは、追加のしきい値よりも大きい、最大コードブロックサイズよりも小さい、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

低密度パリティチェック (LDPC) コーディングを使用して前記コードブロックを符号化するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記トランスポートブロックがより大きいコードブロックを使用して送信された場合に、ビットの反復に対してコーディング利得を達成するように選択された符号レートを使用して、前記コードブロックが送信される、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

低密度パリティチェック(LDPC)を使用して前記コードブロックを符号化するステップであって、前記第2のコードブロックサイズが前記第1のコードブロックサイズよりも大きく、前記第2のコードブロックサイズが追加のしきい値よりも大きい、最大コードブロックサイズよりも小さい、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

ワイヤレス通信のための装置であって、

トランスポートブロック(TB)を送るために利用可能なオーバージエアリソースを決定するための手段と、

前記決定およびコードブロック(CB)に対する符号レートに基づいて前記TBをより小さいコードブロックに分割することを実行するための手段であって、前記分割することを実行するための手段が、

前記符号レートがしきい値よりも小さい場合に第1のコードブロックサイズを選択する、または

前記符号レートが前記しきい値よりも大きい場合に第2のコードブロックサイズを選択するように構成された、実行するための手段と、

前記CBを送信するための手段と

を備える、装置。

【請求項 9】

前記分割を実行するための手段が、

前記符号レートが前記しきい値以下である場合に前記第1のコードブロックサイズを選択するように構成された、請求項8に記載の装置。

【請求項 10】

前記第2のコードブロックサイズが前記第1のコードブロックサイズよりも大きい、請求項8に記載の装置。

【請求項 11】

前記第2のコードブロックサイズは、追加のしきい値よりも大きい、最大コードブロックサイズよりも小さい、請求項10に記載の装置。

【請求項 12】

低密度パリティチェック(LDPC)コーディングを使用して前記コードブロックを符号化するための手段をさらに備える、請求項8に記載の装置。

【請求項 13】

前記トランスポートブロックがより大きいコードブロックを使用して送信された場合に、ビットの反復に対してコーディング利得を達成するように選択された符号レートを使用して、前記コードブロックが送信される、請求項12に記載の装置。

【請求項 14】

ワイヤレス通信のための装置であって、

プロセッサを備え、前記プロセッサが、

トランスポートブロック(TB)を送るために利用可能なオーバージエアリソースを決定することと、

前記決定およびコードブロック(CB)に対する符号レートに基づいて前記TBをより小さいコードブロックに分割することを実行することであって、前記分割が、

前記符号レートがしきい値よりも小さい場合に第1のコードブロックサイズを選択すること、または

前記符号レートが前記しきい値よりも大きい場合に第2のコードブロックサイズを選択することにより少なくとも部分的に実行される、実行することと、

前記CBを送信することと

を行うように構成された、装置。

【請求項 15】

前記プロセッサが、前記符号レートが前記しきい値以下である場合に前記第1のコード

ブロックサイズを選択することによって前記分割を実行するように構成された、請求項14に記載の装置。

【請求項16】

前記第2のコードブロックサイズが前記第1のコードブロックサイズよりも大きい、請求項14に記載の装置。

【請求項17】

前記第2のコードブロックサイズは、追加のしきい値よりも大きい、最大コードブロックサイズよりも小さい、請求項16に記載の装置。

【請求項18】

前記プロセッサが、低密度パリティチェック(LDPC)コーディングを使用して前記コードブロックを符号化するように構成された、請求項14に記載の装置。

【請求項19】

前記トランスポートブロックがより大きいコードブロックを使用して送信された場合に、ビットの反復に対してコーディング利得を達成するように前記符号レートが選択される、請求項18に記載の装置。

【請求項20】

命令を記録したコンピュータ可読記録媒体であって、

前記命令が、

トランスポートブロック(TB)を送るために利用可能なオーバージエアリソースを決定することと、

前記決定およびコードブロック(CB)に対する符号レートに基づいて前記TBをより小さいコードブロックに分割することを実行することであって、前記分割の実行が、

前記符号レートがしきい値よりも小さい場合に第1のコードブロックサイズを選択すること、または

前記符号レートが前記しきい値よりも大きい場合に第2のコードブロックサイズを選択することを含む、実行することと、

前記CBを送信することと

を行うためのものである、コンピュータ可読記録媒体。